

49 マサゴハゼ  
*Pseudogobius masago*

(ハゼ科)

兵庫県ランク:A  
環境省ランク:VU

種の概要

小型のハゼで、全長は3 c m程度。河川の河口域の浅く平坦な泥底に生息する。頭部は丸みを帯びる。第1背鰭に黒色斑がないこと、体高が低いことなどで近似のスナゴハゼと区別できる。国内では宮城県以西の太平洋沿岸、対馬以南の日本海、東シナ海沿岸、瀬戸内海沿岸に分布する。

写真なし

県内における生息状況及びその他特記事項

県内の分布は瀬戸内海側の河川に限られており、播磨東部、播磨西部の数河川から記録されている。

保護上の留意点

本種の好む河川汽水域の河岸近くの平坦な浅場を改変する事業（護岸や堤防、干拓等）が本種にとって生存の脅威になると思われる。また、本種は小型の種で、採集時には泥に紛れやすいことから、環境調査等の実施にあたっては見落としや他種の幼魚との誤認がないよう留意が必要である。

県内分布

加古川市、高砂市、姫路市、赤穂市、たつの市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

|     |    |   |
|-----|----|---|
| 人為性 | 激減 | ○ |
|     | 環境 | ○ |
|     | 捕獲 |   |
|     | 遺伝 |   |
| 特殊性 | 特殊 |   |
|     | 孤立 |   |
| 学術性 | 極限 | ○ |
|     | 限界 |   |
|     | 希少 | ○ |

